

発達支援ファイル 「あゆみ」



発達支援ファイル って…？

育ちの中で一貫したサポートを受けるために、保護者や関係者が協力して一緒に作っていくファイルです。
ファイルは保護者が保管します。
サポートしてくださる方々と情報を共有していくためにとても役立ちます。

こどものころから大人になっても

発達支援ファイルの活用方法

● ● 保護者の皆さまへ ● ●

乳児期
～1歳

幼児期
1歳～就学前

担任の先生とのやりとりや療育などの記録を

- ・家庭での生活や保育所・幼稚園・認定こども園での生活や遊びの中で成長を感じたことや気がかりなことがあれば、書き込んでいきましょう。また、好きなことや興味があることを書き込んでおくと、支援の手がかりになります。
- ・個別支援計画があれば、そのコピーをはさむこともできます。

学童期
小学1年生～6年生

担任の先生や放課後児童クラブの先生と

- ・就学先にファイルを提示することで、今までの歩みを整理して伝える助けになります。
- ・最初は苦手だったけれどできるようになってきたことや、やり方を工夫してうまくいったことなどを書き込んでいくと、次に苦手なことに出会ったときに、参考になるでしょう。
- ・個別（教育）支援計画があれば、そのコピーをはさむこともできます。

青年期
中学1年生～高校3年生

進路選択に向けて

- ・こどもの強みや苦手なこと、取り組んできたことを整理しておくことで、こどもと一緒に将来を描く助けになります。
- ・学校の先生と相談するときにも、今までの歩みを説明する資料となります。
- ・受験のときなどに合理的配慮を相談する資料にもなります。

成人期
18歳～

就職し、社会生活を送るために

- ・就労先にファイルを提示することで、今までの支援の状況やこどもの強み・弱みを知ってもらい助けになります。
- ・地域で支援サービスを受けるときや困ったことがあったとき、相談にかかるときにファイルの情報が役立ちます。

福祉

利用サービスの内容など

- ・利用している社会資源（療育教室、放課後支援、デイケアなど）を記録しておく、支援者同士の連携に役立つでしょう。
- ※特別児童扶養手当や療育手帳などのある方は、種別や取得年月日を記録しておく、忘れずに更新できるようにしましょう。

保健

健診や予防接種、通院などの記録を

- ・病院の受診状況やこども家庭センターが実施している乳幼児健診の状況や遊びの教室などの参加状況を記録することができます。
- ※こども家庭センターの職員が記録することもできますので、お申し出ください。

医療

診察の内容など

- ・発達にかかわる検査（聴力・視力検査、脳波、脳MRI検査など）や治療（リハビリテーションなど）の情報ははさむことができます。《受診された医療機関にお申し出ください》
- ・支援者に知っておいてほしい身体の状態（アレルギーなど）について、あなた自身が記録しておくこともできます。

教育機関、福祉機関、事業所の皆さまへ

趣旨をご理解の上、ファイル利用者のご希望によって、面談記録や個別（教育）支援計画などのコピーを提供していただきますよう、お願いします。また、それぞれの年代のページに直接記入していただくこともできます。

医療機関の皆さまへ

趣旨をご理解の上、ファイル利用者のご希望によって、必要書類のコピーを提供していただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。「医療的かわり」のページに、利用者自身が書き込めるようになっています。

ファイルを持っているあなたへ

- ・このファイルは、あなたが「だれかの支援がほしい」と思ったときに、支援者にあなたについて、よりよく理解してもらえることを願って作られました。ですからこのファイルに記録する情報は、「自分の支援のために知ってほしい情報」であるようにしてください。個人情報として知らせたくないことまで書く必要はありません。見せたくない情報がある場合、そのページをはずしておけば、見せないでおくことができます。
- ・このファイルは舞鶴市のオリジナルですが、各市町村でも導入が広がっていますので、引っ越した先でも役立つでしょう。

このファイルに関するご質問、ご意見は下記までお願いします。

舞鶴市乳幼児教育センター

TEL：0773-68-9510

FAX：0773-75-0526